

2013（平成 25）年度
＜第 9 期＞

事 業 報 告 書
収 支 計 算 書
財 産 目 録
貸 借 対 照 表

自 2013 年 4 月 1 日
至 2014 年 3 月 31 日



特定非営利活動（NPO）法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

2013 年度(第 9 期)事業報告書

1. 事業の実施

(1) 医療福祉支援事業

フエ中央病院小児センターでの小児がん治療・ケアの向上強化に取り組んだ。人的交流・密な連携・コミュニケーションを重ねることにより、ベトナム内で小児がん治療・ケアにさらなるひかりをあてることができた年となった。さらに現地の自立に向け、積極的に現地スタッフが事業に取り組めるよう、指導に力を注いだ。現地での活動に加え、無料のインターネット通話サービス等を活用し、現地とのコミュニケーションをはかり、常にプロジェクトの進捗状況の確認、課題解決のための協議・対応を重ねた。

- 2013 年 4 月 29 日 (月) :
 - ◇ ホーチミン小児第二病院視察、ACCL 作成「小児白血病ハンドブック」の寄贈
- 2013 年 4 月 30 日 (火) :
 - ◇ ベトナム・ダナン小児科学会 2013 に参加、渡辺代表による「小児がんアウトリーチプロジェクト in ベトナム」についての発表、ダナンがん病院視察
- 2013 年 5 月 1 日 (水) ~9 日 (木) :
 - ◇ フエ中央病院小児センターでの活動
- 2013 年 7 月 17 日 (水) ~7 月 30 日 (火) :
 - ◇ フエ中央病院小児センターでの活動
 - ◇ 小児血液がん病棟の 2F から 4F への移動に伴う病棟整備
 - ◇ ベトナム中部小児がん家族の会第 2 回野外活動
 - ◇ CCF (シンガポール小児がん財団) ソーシャルワーカーによるフエ視察・交流
 - ◇ ICCCPO 会員 (フィリピン) によるフエ視察・交流
- 2013 年 8 月 23 日 (金) ~9 月 5 日 (木) :
 - ◇ フエで開催されたベトナム腫瘍学会への支援、参加、発表 (ACCL 渡辺代表)
 - ◇ シンガポール・NUH の小児血液腫瘍専門看護師によるフエ視察、指導、学会参加・講演、交流
 - ◇ フィリピンの小児血液腫瘍専門医師によるフエ視察、指導、学会参加・講演、交流
 - ◇ 日本の小児科医によるフエ視察、フエ視察、指導、学会参加、交流
 - ◇ 支援者 (大原薬品工業株式会社社員様) によるフエ視察、交流
- 2013 年 12 月 23 日 (月) ~28 日 (土) :
 - ◇ フエ中央病院小児センターでの活動
- 2014 年 3 月 18 日 (火) ~26 日 (水) :
 - ◇ フエ中央病院小児センターでの活動
- 年間を通して :
 - ◇ フエ医科大学ボランティアグループ「Blouse Xanh」による小児がんセンターでの活動支援

昨年に引き続き以下の内容を実施 :

- 1 医療支援
 - 小児白血病治療実践・方針の指導ならびにフォローアップ
 - 感染症予防の指導
 - 治療環境整備のための物品寄付 (病棟備品)
 - 院内での食事提供・栄養管理
 - 医療備品、医薬品 (抗がん剤、抗生剤、輸血製剤) 等の提供
 - 医療従事者から患児・家族への院内教育プログラムの協力
 - 関連部署・機関との会談・交渉
- 2 社会福祉支援
 - 患児・家族への交通費・緊急治療費補助

- 治療中の患児・家族の家庭訪問ならびにお子さまを亡くされた家族の慰問
 - ベトナム中部小児がん家族の会開催、患児家族への教育（感染予防対策等）、情報提供、意見交換、課題解決の促進。
 - 入院中の患児・家族・医学生ボランティアとのイベント（国際子どもの日：6月1日、小児血液腫瘍看護師の日：9月8日、インターナショナル・ドットデー：9月15日、ベトナム・テト正月：1月31日、世界対がんデー：2月4日、国際小児がんの日：2月15日等のお祝い）
- 3 医療相談・症例検討
- 日本、アメリカ、シンガポールの医師によるセカンドオピニオン、コンサルテーション。
- 4 UICC*との協働プロジェクト：小児がん家族の会自立支援プログラム
- * UICC（Union for International Cancer Control）＝国際対がん連合
- ICCCPO（国際小児がん親の会連盟）との連携で実施。
 - 目的は、フエ中央病院で治療を受ける患児・ご家族の生活の質を向上させるケアを提供、フエ中央病院小児科で発足したベトナム中部小児がん家族の会の自立促進。
 - 当事者主導による活動展開への協力・指導：闘病中の子どもたち・ご家族への支援・教育、野外プログラムの開催、遺族への支援等。

(2) 自立支援事業

一般財団法人新倉会様からの支援により、「ベトナム中部における小児がん治療向上のためのプログラム：フエ中央病院小児科と日本およびアジアの小児がん専門施設との交流～」を実施した。

(A) フエ中央病院小児科看護師向け専門研修（ホーチミン市にて2週間）：2名

目的： 白血病患児に対する看護、感染症予防対策、薬剤の取扱・投与方法、治療環境の整備等、包括的な習得

日程： 2013年5月20日(月)～5月31日(金)

場所： ベトナム・ホーチミン市

Blood Transfusion and Hematology Hospital, Ho Chi Minh City

参加者：小児血液腫瘍担当看護師：

レ・ダイ・ニャン [Le Dai Nhan]

ヴォー・レ・グエン・タオ [Vo Le Nguyen Thao]

成果： 小児白血病の治療・看護に関する臨床技術ならびに管理指導を学ぶことができ、小児血液腫瘍看護師としての専門性を高める必要があることを痛感した。病棟でのオンザジョブトレーニング、ホーチミンの看護師がどのように患児・ご家族と接しているかを観察することになり、自分たちの看護環境ならびに処置を見直すことができた。

中心静脈カテーテルを使用している点、各患児への薬剤はすべて病院の薬剤部で処理され病棟に運ばれてくるなど、フエとは違う状況であることもあったが、将来的にフエでもこのようなことが実現でき、看護環境の改善計画を立てていくためにはたいへん貴重な経験であった。

栄養管理や食事指導なども看護の一環であることを学ぶことができ、今後フエでの実践にうつしていきたい。

病棟のみならず、自分たちが日々仕事しているナースステーションを清潔にそしてカルテ管理などを含む仕事をしやすいように効率化をはかる必要があることも学んだ。

(B) 小児がん早期発見・診断・治療のための地域保育園での検診・スクリーニング

目的： 子どもたちの検診・スクリーニングを通して健康・衛生管理、感染予防ならびに小児がん早期発見・啓発

① フエ市内

日程： 2013年11月27日(水)・28日(木) 午前：8～11:30qm/午後 1:30～5:00pm

場所： (1) Hong Duc 保育園
(2) Pho Quang 保育園
(3) Dieu De 保育園

(4) Dieu Vien 保育園

(5) Ngu Binh 保育園

参加者：医療チーム（フエ中央病院小児センター：医師 3 名、看護師 3 名）

ファン・スアン・マイ（Phan Xuan Mai）医師

チャウ・ヴァン・ハー（Chau Van Ha）医師

ファム・フイ・トアン（Phan Huy Thuan）医師

ブイ・ティ・ミン・イェン（Bui Thi Minh Yen）看護師

ホアン・ティ・アイ・チャム（Hoang Thi Ai Tram）看護師

グエン・ヴィエット・トゥン（Nguyen Viet Tuong）看護師

成果：医師 3 名・看護師 3 名がそれぞれペアを組み、保育園が準備したスペースに診察場所を設置し、園児一人一人順番に検診を実施した。

検診内容については、保育園の健康手帳へ記録をし、症状がある園児について別途保育園スタッフへの詳細ならびにフォローアップについての指導がなされた。特に 9 名の園児については、改めて小児センターへの検査が必要となった。

検診後には、園児にビタミン剤ならびにミルクを支給した。

② クアンナム省ミーソン

日程：2014 年 3 月 5 日（水）午前：10:00～午後 3:00

場所：Duy Phu 保育園

参加者：医療チーム（フエ中央病院小児センター：医師 3 名、看護師 3 名）

ファン・スアン・マイ（Phan Xuan Mai）医師

チャウ・ヴァン・ハー（Chau Van Ha）医師

ファム・フイ・トアン（Phan Huy Thuan）医師

グエン・ティ・ユン・スアン（Nguyen Thi Duong Xuan）看護師

ホアン・ティ・アイ・チャム（Hoang Thi Ai Tram）看護師

ホー・ヴィエット・トゥン（Ho Viet Tuong）看護師

ベトナム中部小児がん家族の会・Thai Quang Vinh 氏協力

成果：医師 3 名・看護師 3 名がそれぞれペアを組み、保育園内の廊下に診察スペースを設置し、園児一人一人を順番に検診した。検診内容については、園児それぞれの健康手帳に記入し、検診後には園児たちにミルクとビタミン剤を支給した。

病院での再検査が必要な園児はいなかったが、フエ市内の保育園児と比べ貧血・栄養不良等の症状がある患児の割合が多かった。保育園スタッフへ園児の健康管理について指導をし、情報を親御さんたちとも共有することをお願いした。

※上記保育園には、2013 年 7 月に一般財団新倉会の理事と一緒に事前視察をし、救急キャビネットを寄贈した。

(C) ベトナム中部省・区病院における現場指導・研修

目的：小児がん発症疑いを早期に発見し、診断・治療に結びつけるための地域医療連携体制を確立（実施場所は小児がんワークショップに参加した省病院より選抜）

① クアンナム（Quang Nam）省

日程：2013 年 12 月 10 日（火）～11 日（水）

場所：(1) クアンナム省中央一般病院

(2) クアンナム省子ども病院

(3) クアンナム省クアンナム区ディエンバン総合病院

参加医療チーム：ベトナムフエ中央病院小児科より 3 名

ファン・スアン・マイ（Phan Xuan Mai）医師

チャウ・ヴァン・ハー（Chau Van Ha）医師

ファム・フイ・トアン（Phan Huy Thuan）医師

成果：昨年度に引き続きの省病院ならびに区病院のアウトリーチプログラム。クアンナム省は比較的フエから近く、これまでもこの地域からの白血病患児をフエ中央病院で治療をしているため、実際に現場を視察し、現状

の正しい把握ならびに関係医師・看護師らのニーズを把握することは、とても有意義だった。小児がん治癒率向上には、早期発見ー早期移送ー早期診断・治療は欠かせず、このアウトリーチプログラムを通して、直接医療従事者同士が交流し、意見交換をすることは、直接患児の救済につながる。これまで白血病の疑いがある場合、患児をホーチミンに移送することも多かったが、今後は地理的にも近いフエ中央病院へ移送し、さらには患児の維持療法を、自宅に近い省病院で受けられる体制をという話にまで至った。今後も引き続き医療従事者との連携を深め、小児がんの専門的な研修を提供し、実際の臨床の場で治療を学んでもらう機会を作っていくことの必要性を強く感じた。

② ビンディン (Binh Dinh) 省

日程： 2014年3月12日(水)～14日(金)

場所： (1) ビンディン省一般病院
(2) クアンナム省アンノン区病院
(3) クアンナム省ボンソン区病院

参加医療チーム：ベトナムフエ中央病院小児センターより3名

ファン・スアン・マイ (Phan Xuan Mai) 医師

チャウ・ヴァン・ハー (Chau Van Ha) 医師

ファン・フイ・トゥアン (Phan Huy Thuan) 医師

成果：ビンディン省の小児がん患児の多くは、これまでホーチミンに移送されることが多く、ホーチミンより地理的に近いフエへの移送をスムーズに行い、患児・ご家族の負担も軽減させるため、現場スタッフと協議することができた。直接現場の医療従事者と面談し、小児疾患・治療の現状の把握ならびに小児がんについてのレクチャーや症例検討などを通して、今後小児がんを疑う患児さんの移送について、フエ中央病院小児科と連携を深めていくこととなった。現場のスタッフからは、小児がん患児の治療やケアについてもっと知識を得たいという声も多くあり、フエ中央病院小児センターで小児がんの専門的な研修を実施するニーズが強く、今後の人材育成事業につなげていく。

(D) フエ医科大学医学生ボランティア団体による小児病棟での活動支援

実施場所：フエ中央病院小児科病棟内

実施時期：年間を通して

<団体概要>

- 団体名：「Blouse Xanh (英語名：Blue Blouse)」
- スーパーバイザー：Mr. Anh Hien Ho (アン・ヒエン・ホー)
- 2008年9月11日にフエ医科大学の医学生らによって発足
- 現在200名以上のボランティアが登録
- 2011年4月からフエ中央病院小児科での活動(“Blue Dream”)をスタート
- 小児科病棟での活動内容：
 - 毎週末病棟にてダンス、歌、クイズ、お絵かき、絵本・DVD鑑賞、お誕生会等。隔週で交互に小児科全体のプログラム、小児がん病棟でのベッドサイドでのプログラムを展開する
 - 年次行事：国際子どもフェスティバル(6月1日)、ベトナムの子どもの日(8月15日)、中秋の名月(9月)、クリスマス、テト旧正月等

(E) フエ中央病院での小児がん治療に対する医療環境の整備

治療環境ならびに疾患についての指導ならびに環境整備に必要な医薬品、医療備品購入

(3) 啓発活動・情報提供事業

小児がんへの正しい知識、支援の依頼ならびにアジア発展途上国における治療の現状や課題の情報提供。

① ウェブサイト (<http://www.accl.jp>)

ホームページを通しての啓発・情報発信。

- ② ニュースレター『Harmony (ハーモニー)』の発行
会員ならびに支援者に向け、年2回発行。(第16号:2013年4月、第17号:2014年3月)
- ③ 「国際小児がんの日」(2月15日)
ICCCPO(国際小児がん親の会連盟)、SIOP(国際小児がん学会)、UICC(国際対がん連合)による発行された全世界共通ポスター「小児がんの徴候」を活用し、小児がんの早期発見・早期治療の啓発プロジェクトを展開。ポスターはベトナム語にも訳し掲示・配布。
- ④ ACCL 広報
キャラクター「バブール」(イラストレーター:ムライタケシ様ご協力)、小児がんのシンボル「ゴールドリボン」とともに、小児がんの啓発ならびにACCLの活動について広報を展開。

(4) コーディネート・コンサルテーション事業

(A) 国内事業

- ① 小児がんネットワーク MN (みんななかま) プロジェクト
小児がん経験者のグループである小児がんネットワーク MN (みんななかま) プロジェクトの運営、企画、イベント等への助言・指導を提供。
- ② 小児がん関連の団体ならびに国際協力やボランティア・NPO等
問い合わせや相談等に随時対応。

(B) 海外事業: UICC(国際対がん連合)との協働プロジェクト小児腫瘍看護師研修

- UICCの支援のもと、ACCLがコーディネーターとなり、フエ中央病院小児科の看護師研修プログラムを実施。
- コラボレーション・パートナー: UICC(国際対がん連合:本部スイス)、ACCL(日本)、NUH(シンガポール国立大学病院)、KKH(シンガポール KK ウイメンズ・アンド・チルドレンズ・ホスピタル)、SJCRH(アメリカ・セントジュード小児研究病院)
- 2012年の夏から協議を重ね、小児腫瘍専門研修プログラムの実施計画を立て、2013年3月には、シンガポールでの1ヶ月研修を実施、2013年度はその後のフォローアップ(シンガポールの看護師によるフエ視察・指導・講演、ACCLによるアセスメント)。
- シンガポールで研修を受けた看護師がイニシアティブをとり、看護師の定期的なミーティングを実施。
- 必要な医療機器の選抜ならびに購入。

(5) 交流・イベント事業

① イベントの開催・参加・協力

- 参加・発表
 - 内 容: 第113回国際母子カンファランス
 - 開催日程: 2013年4月10日(水)
 - 場 所: 国立国際医療研究センター5階大会議室(東京都新宿区)
 - 発 表: 「ベトナム中部での小児がん Cure&Care プロジェクト」
- 協力・展示
 - 内 容: 聖路加看護大学 Global Health Seminar 2013 Skills for Action
グローバルヘルスを紡ぐ実践力
 - 開催日程: 2013年5月18日(土)
 - 会 場: 聖路加看護大学本館3階(東京都中央区)
 - 展示ブース: ACCLの活動紹介、チャリティーグッズ、関連資料展示
※小児がん経験者によるボランティア参加
- 交流
 - 内 容: セント・ジュード小児研究病院(アメリカ・テネシー州・メンフィス)
のスコット・ハワード医師来日における交流・症例相談
 - 開催日程: 2013年6月22日(土)
 - 場 所: ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(愛知県名古屋市)
 - 講 演: 第4回小児腫瘍セミナー「Pediatric oncology outreach programs」

- 講義
 - 内 容：明治学院大学・心理学部・教育発達学科・子ども文化
 - 開催日程：2013年10月8日（火）
 - 場 所：明治学院大学（神奈川県横浜市戸塚区）
 - 講 義：「私たちができること：ベトナムでの活動“知る・学ぶ・関わる・つながる”」
- 視察
 - 内 容：小児病棟環境整備のための施設視察
 - 開催日程：2013年11月25日（月）
 - 場 所：キッザニア東京（東京都江東区）
- 協力
 - 内 容：小児がん経験者による企画「小児がんから教わったこと～未来へつなげるために～」
 - 開催日程：2013年11月30日（土）
 - 場 所：ヒルトン福岡シーホーク（福岡県福岡市）
- 共催
 - 内 容：第2回全国小児がん経験者大会 in 福岡
 - 開催日程：2013年11月30日（土）
 - 場 所：福岡ソフトリサーチパーク（福岡県福岡市）
 - 主 催：小児がんネットワーク MN（みんななかま）ネットワーク
- 共催
 - 内 容：小児がんゴールドリボンキャンペーン・JAPAN・2014
「～生きるを楽しむ～ in 高知」
 - 開催日程：2014年3月9日（日）
 - 会 場：高知市立自由民権記念会館・民権ホール（高知県高知市）
 - 主 催：小児がんネットワーク MN（みんななかま）ネットワーク

② 海外とのネットワーク

- 国際小児がん親の会連合（ICCCPO）ならびに国際対がん連合（UICC）
E-mail などによる事務局・会員との連絡、情報交換を進めた。
- 第45回国際小児がん学会（SIOP）・国際小児がん親の会連合（ICCCPO）総会への参加・発表
 - 開催日程：2013年9月25日（水）～28日（土）
 - 会 場：香港
 - 参 加 者：小児血液腫瘍に従事する医師・看護師、支援者、全世界からの小児がん家族・親の会の代表者、小児がん経験者。
*フェ中央病院小児センター長フン医師、ハー医師、小児がん患児の父親ならびに家族の会副会長ヴィン氏、ACCL 渡辺代表
 - 口頭発表：渡辺代表：「ベトナム中部小児がん家族の会プロジェクト：グローバルな協働とチャレンジ」
 - ポスター発表：ハー医師「フェ中央病院における小児白血病の治療成績・社会的支援の効果」

(6) 調査・研究事業

執筆活動ならびに著書寄贈：

- ACCL 渡辺和代代表が、小児血液腫瘍専門書『Pediatric Hematology-Oncology in Countries with Limited Resources: A Practical Manual』に共著者として参加。この本は、途上国で小児がん治療・ケアに従事する医療者向けの実践マニュアルで、Daniela Cristina Stefan 医師、Carlos Rodriguez-Galindo 医師の監修のもと、Springer 出版社より2013年12月4日に発行。この本のチャプター12「Psycho-Social Aspects / Parent Support Groups」をICCCPO（国際小児がん親の会連盟）の会長 Kenneth 氏とアフリカ在住の小児がん患児の親御さん Wondu 氏と一緒に執筆。
- 本著書をベトナムはじめ、アジアの途上国の医療施設に寄贈。

(7) その他の事業

ネパール小児がん支援：B.P.コイララ記念病院小児科（ネパール・バラトプル、担当：小児血液腫瘍科クリシュナ・サガー・ジャルマ医師）への支援・協力

- ① 小児がん患者・家族のためのプログラムおよび地域への啓発・資金集めプログラム
日程：2013年6月29日（土）
場所：B.P.コイララ記念病院講堂
内容：小児がん患者・ご家族のためのエンタテイメント、小児がんについての講演、資金集め活動
- ② “Global Maximo Life キャンペーン”（マックス財団による小児がん啓発プログラム）
日程：2013年10月29日（火）
場所：B.P.コイララ記念病院会議室
内容：マックス財団によるオリジナル絵本の寄贈。小児がん患者、ご家族、医療従事者との交流。

2. 運営事項

(1) 総会

開催日時：2013年6月30日 午後3時
場 所：ブロードシティ東京 B1 会議室（東京都中央区）
議 題：2012年度事業報告・決算報告
2013年事業計画案・予算案について
※併せて、報告会「アジアにおける小児がんプロジェクトの今後
～現地の自立さらなるアジア協働の構築～」

(2) 理事会

- 第1回
開催日時：2013年5月11日 午後7時00分
場 所：本法人事務所
議 題：2012年度決算報告ならびに会計監査
2013年事業計画案についての協議
- 第2回
開催日時：2013年11月1日 午後7時00分
場 所：本法人事務所
議 題：既存事業の経過
2013年上半期事業、収支経過の承認ならびに
2013年度下半期事業の確認

(3) 役員

現役員の任期は、2012年7月1日から2014年6月30日まで

理 事 長	渡辺 和代
副理事長	秋田 成就
理 事	井上 修一
監 事	山岸 秀雄

(4) 資金源

会費ならびに寄付により事業を運営。

A) 2013年度会費総額： ¥264,000
B) 2013年寄付総額： ¥10,224,900

2013(平成 25)年度 <第 9 期> 収支計算書

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
パートナー会員		
個人会員会費収入	72,000	
法人会員会費収入	0	
サポーター会員		
個人会員会費収入	192,000	
法人会員会費収入	0	264,000
2 事業収入		
(1) 医療福祉支援事業	0	
(2) 自立支援事業	0	
(3) 啓発活動・情報提供事業	0	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	0	
(5) 交流・イベント事業	0	
(6) 調査・研究事業	0	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	0	0
3 寄付金収入		
寄付		10,224,900
4 補助金・助成金収入		
補助金	0	
助成金	0	0
5 雑収入		
預金利子		1,108
当期収入合計		10,490,008
経常収入合計		10,490,008
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 医療福祉支援事業	6,313,145	
(2) 自立支援事業	1,786,758	
(3) 啓発活動・情報提供事業	291,830	
(4) コーディネート・コンサルテーション事業	3,698,928	
(5) 交流・イベント事業	357,921	
(6) 調査・研究事業	55,917	
(7) その他、目的を達成するために必要な事業	50,800	12,555,299
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
光熱費	47,737	
通信費	122,065	
印刷費	4,567	
広告宣伝費	0	
機器備品費	0	
消耗品費	10,682	
旅費交通費	0	
会議費	100	
雑費	0	185,151
3 予備費		0
経常支出合計		12,740,450
経常収支差額		(2,250,442)
当期収支差額		(2,250,442)
前期繰越収支差額		9,726,146
次期繰越収支差額		7,475,704
(正味財産増減の部)		
III 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額		(2,250,442)
2 負債減少額		0
増加額合計		(2,250,442)
IV 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額		(2,250,442)
2 負債増加額		0
減少額合計		(2,250,442)
当期正味財産減少額		(2,250,442)
前期繰越正味財産額		9,726,146
当期正味財産合計		7,475,704

平成25(2013)年度 財産目録

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金 現金手元許有高	85,888		
郵便振替貯金:00120-0-724050	0		
郵便振替貯金:00150-1-377857	0		
普通預金 三井住友銀行・築地支店	66,515		
普通預金 みずほ銀行・築地支店	1,025,308		
普通預金 三菱東京UFJ銀行・築地支店	6,297,993		
外貨普通預金 三井住友銀行・築地支店	0		
流動資産合計	7,475,704		
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
什器備品	0		
電話加入権	0		
敷金	0		
積立金	0		
固定資産合計	0		
資 産 合 計		7,475,704	
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計	0		
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計	0		
負 債 合 計		0	
正 味 財 産			7,475,704

平成25(2013)年度 貸借対照表

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人 アジア・チャイルドケア・リーグ

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	現金手元許有高	85,888	
	郵便振替貯金:00120-0-724050	0	
	郵便振替貯金:00150-1-377857	0	
普通預金	三井住友銀行・築地支店	66,515	
普通預金	みずほ銀行・築地支店	1,025,308	
普通預金	東京三菱UFJ銀行・築地支店	6,297,993	
外貨普通預	三井住友銀行・築地支店	0	
	流動資産合計		7,475,704
2 固定資産			
	土地	0	
	建物	0	
	什器備品	0	
	電話加入権	0	
	敷金	0	
	積立金	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		7,475,704
II 負債の部			
1 流動負債			
	預り金	0	
	短期借入金	0	
	流動負債合計		0
2 固定負債			
	長期借入金	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		0
III 正味財産の部			
	前期繰越正味財産	9,726,146	
	当期正味財産増減額	(2,250,442)	
	正味財産合計		7,475,704
	負債及び正味財産合計		7,475,704